

1 事業内容

団体名	一般社団法人エシカルプラス
事業名	災害対策トレーニング in 釧路
課題テーマ	地域を担う人材育成・安心して暮らせる都市
事業目的	千島海溝巨大地震他、ハザードに対応し備える力を都市単位で作りに上げていくためには、災害を乗り越える環境づくりが必要である。人材育成・自主防災組織の構築を見据えた災害に強いまちづくりを目的とした事業を実施する。
事業内容	<p>【災害対策&キャリア教育WS】</p> <ol style="list-style-type: none"> 小学生等を対象に災害時に活躍する職業を理解し、災害対応力強化トレーニングで体験 課題についての意見交換 <p>【災害対策士を目指そう！】</p> <ol style="list-style-type: none"> 災害対策トレーニングセンターの協力を得て、災害対策士能力検定を目指した講習会を開催 <p>【自主防災組織の構築】</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域課題である自主防災組織の形骸化に対応する課題解決と意見交換 避難所運営マニュアル考案→政策提言書としてまとめる *別紙参照
事業展開	<p>【災害対策&キャリア教育WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路市立中央小学校総合学習4.5年生に向けて、災害対策トレーニングを開催。班別に分かれて、意見交換や感想の発表を実施した <p>【災害対策士を目指そう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策トレーニングセンター及び、支援会担当者の協力を得て、ワークショップ実施（大人向け） 小学生には特例としてDMTC修了証を発行した <p>【自主防災組織の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士見町内会会合にて、意見交換や課題解決に向けての協議に参加し、議論を実施した 女性向けの避難所マニュアル考案を市民を交えて実施した 消防に講師を依頼し、ワークショップを実施 <p>多様な世代と防災・災害対策について意見交換を実施した</p>

成果目標の達成状況	都市単位の防災・災害対応力の強化について、消防、教育委員会、危機管理課、自主防災組織に当事業に参加をしていただき各分野からの気づきや今後の対策を共有、官・民協働による釧路市の災害対策構築に向けてのカウンターパートとなる事業となった。政策提言書（別紙参照）を作成するにあたり、協議体の偏向なく市民から専門家まで幅広い層のニーズをもとに構築できた
波及効果の達成状況	教育分野、高齢者、女性、小学生、市議会議員など多様な世代や分野の方々と事業ができた。また、SNS 発信により釧路市内に限らず、道東エリアなど、広域に周知することができた。 ・ワークショップ（4回）60名 ・講演・研修会（1回）30名 ・小・中学生向け講習 40名 ・SNS 等発信による実施情報提供（閲覧数 356名） ・その他 口コミ、新聞掲載、シェア拡散による波及
実施体制	当事業所メンバー、地域学校協働活動推進員他 釧路市立中央小学校職員
連携した市担当課	無 ・ 有 （ 総務部 防災危機管理課 ） （ 消防本部 総務課 ） （ 学校教育部 学校指導課 ）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	事業周知サポート 意見交換（課題解決に向けた） 伴走支援 講師レクチャー

2 支出決算書と支出内訳

（収入）

費目	決算額（円）	内訳
輝くまちづくり交付金	400,000円	
自己資金	106,306円	
合 計	506,306円	

（支出）

費目	決算額（円）	内訳
対象経費		
謝礼	40,000円	講師謝礼（2名分）
印刷製本費	188,000円	テキスト・リーフレット・ポスター
旅費	69,496円	事業実施従事者分（講師込）
使用料・賃貸料	104,860円	会場使用料・会場備品

消耗品費	3, 300 円	救急セット他
小 計	405, 656 円	
対象外経費		
人件費	82, 000 円	ワークショップ・演習・講演会手伝い 2名（朝・昼食代・講師送迎分込）
備品購入費	18, 650 円	演習・ワークショップ時の消毒備品等
小 計	100, 650 円	
合 計	506, 306 円	